



# ダイキョーニシカワ グリーン調達ガイドライン

2023年10月

ダイキョーニシカワ株式会社

## 目次

1. はじめに.....	2
2. ダイキョーニシカワ環境保全への取り組み.....	3
企業理念	
サステナビリティへの対応	
環境保全活動	
3. お取引先様へのお願い事項.....	4
グリーン調達ガイドラインでの要請内容一覧	
1) 環境法規制の遵守.....	5
2) 環境マネジメントシステムの構築・整備.....	5
3) 事業活動における環境負荷低減の取り組み.....	5
(1) 温室効果ガスの削減	
(2) 環境配慮型設計・商品・サービスの提案	
(3) 物流工程の温室効果ガス削減に関する提案	
4) 資源循環の推進.....	6
5) 環境負荷物質の管理と削減.....	6
4. 用語集.....	7
改訂履歴.....	8
<b>【付表】</b>	
1. 「環境保全活動への取り組み状況」調査表.....	9
2. 化学物質調査フロー.....	10
3. SDS提出フロー.....	10

## 1. はじめに

地球温暖化、気候変動など悪化する環境問題に対し世界が一丸となった取り組みが必要であり、企業は社会的責任として環境に配慮した事業活動を促進しています。

ダイキョーニシカワグループは様々な社会課題・環境課題の解決に貢献することで持続的な成長を実現するべく、サステナビリティ方針のもと全社活動として、「環境保全活動」、「廃棄ロス削減の取り組み」、「カーボンニュートラルへの取り組み」、「環境に配慮した開発・技術」など環境にやさしいものづくりを積極的に推進しております。

こうした活動に対しては、お取引先様のご協力が不可欠になります。そこで今回、グリーン調達の取り組みを推進するため「グリーン調達ガイドライン」を制定し、従来からの活動に「CO2 排出量の把握・削減」「環境に配慮した商品・サービスの提案」「物流工程の温室効果ガス削減に関する提案」「廃棄物の削減、リサイクル」の対応を加え、持続可能な社会の実現を目指します。

お取引先様におかれましては弊社の理念と趣旨をご理解いただき、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ダイキョーニシカワ株式会社

購買本部

## 2. ダイキョーニシカワ環境保全への取り組み

ダイキョーニシカワグループは企業理念のもとサステナブルな社会の実現に向け、サステナビリティ方針、環境方針に基づき「全員参加で、徹底した環境保全活動を継続的に行い、人・社会・地球にやさしい企業になります」を環境理念とし環境保全へ取り組みを進めております。

### 企業理念 DNCが永続的に追求する存在意義・社会的使命

- ・社員の幸福と繁栄を願い、人・社会・地球を大切にする企業を実現します。
- ・感動創造企業を目指し、技術開発と革新的なものづくりにチャレンジします。
- ・企業倫理の徹底を図り、地域から信頼される企業を築きます。



### サステナビリティマネジメント

#### サステナビリティ方針

当社グループは、社員一人ひとりが主役となり、企業理念のもとサステナブルな社会の実現に向けて取り組みます。

### 環境保全活動

#### 【環境理念】

全員参加で、徹底した環境保全活動を継続的に行い、人・社会・地球にやさしい企業になります。

#### 【環境方針】

1. 企業活動が環境に与える影響を把握し、環境目標を定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメント 環境パフォーマンス向上のための継続的改善を図り、環境の保護及び汚染の予防に努めます。
2. 企業活動、製品及びサービスの環境に与える影響の中で、特に廃棄物の削減とリサイクル化、省資源・省エネルギーの推進、環境負荷物質の管理・低減を優先的に活動し、徹底したロス低減と環境改善に取り組みます。
3. 環境に関連した法規制およびその他の要求事項を順守します。

#### 【グリーン調達】

豊かな地球環境を次世代に残すために、安全な部材の調達に努め、トータルな視点で環境に配慮されたものを優先的に調達いたします。循環型社会構築に向けたグリーン調達を推進してまいります。

### カーボンニュートラルへの取り組み

2020年に政府が掲げた「2050年カーボンニュートラル宣言」の実現にあたって、当社事業が社会に与える影響度は非常に高いと認識しています。限りある資源を有効利用することに対して強い責任感を持ち、まずは、2030年廃棄ロス削減に向けて2013年度比50%減という目標の達成に向けてあらゆる課題に挑戦しています。

### 廃棄ロス削減の取り組み

プラスチックの廃棄ロスゼロ化に向け、ものづくりに関わる全部門から成るクロスファンクションチームによる「廃棄ロス削減委員会」を毎月開催し、循環型社会の実現に向けた全社のリード役となり、生産工程における廃棄ロス削減の推進やマテリアルリサイクルの推進に取り組んでいます。

### ダイキョーニシカワ グリーン調達ガイドライン

グリーン調達に対するガイドラインを制定した上で環境マネジメントシステムが構築されているお取引先様から、環境法規制を遵守し、環境負荷低減に配慮した部品・材料・サービスを優先的に調達します。

### 3. お取引先様へのお願い事項

弊社は、環境に配慮されたお取引先様から、環境負荷の少ない製品、部品、原材料、副資材等を調達することにより、循環型社会の構築を目指します。

そのために、お取引先様には以下のお願いをさせていただきます。また、これらの要請項目につきましては、弊社から実施状況を確認させていただくことがございます。

要請項目	対象お取引先様	弊社製品として出荷される部品		弊社内で使用される製品/サービス				提出書類	提出時期
		製品・部品	材料・副資材	材料・副資材	型具	メンテナンス	物流		
1) 環境法規制の遵守		○	○	○	○	○	○	—	—
2) EMS (環境マネジメントシステム) の構築 (ISO14001 認証取得状況の報告)		○	○	○	○	○	○	「環境保全活動への取り組み状況」調査表	業態調査に併せて実施
3) 事業活動における環境負荷低減の取り組み									
(1)	温室効果ガスの削減 排出量の把握 削減計画の策定	○	○	○	○	○	○	弊社指定帳票	弊社要請時
(2)	環境配慮型設計・商品・サービスの提案	○	○	○	○	○	○	提案書/ 見積書等	発生の都度
(3)	物流工程の温室効果ガス削減に関する提案	○	○	○	○	○	○	提案書/ 物流関連帳票等	発生の都度
4) 資源循環の推進 廃棄物の削減、リサイクルへの取り組み		○	○	○	—	—	—	弊社指定帳票	弊社要請時
5) 化学物質管理									
(1)	IMDS等を用いた化学物質管理状況報告	○	○	—	—	—	—	IMDSへのデータ入力	弊社要請時
(2)	労働安全衛生法の法令及びGHS分類に対応するためのSDS提出	○	○	○	—	—	—	SDS (安全データシート)	新規部材料発生時等

## 1) 環境法規制の遵守

環境に関連した法規制の遵守が、環境活動を推進する大前提となりますが、環境関連法規制は環境問題の高まりから多様化・拡大をしております。お取引先様におかれましても法規制の改正動向に留意され、適切なお対応をお願いします。

## 2) 環境マネジメントシステムの構築

原材料、部品、製品、副資材を納入いただくお取引先様は環境保全活動を組織的に管理し、継続的な改善を推進していただくために「環境マネジメントシステム」の構築、運営をお願いいたします。（ISO14001の取得、運用を推奨します）

### 【認証取得済みのお取引先様】

維持、更新、向上に務めるようお願いします。

### 【認証取得を予定、未取得のお取引先様】

環境マネジメントシステム推進の為、外部認証を取得の上、継続更新をお願いいたします。

弊社はお取引開始前と開始後は定期的(1回/年)に付表1の書類により「環境マネジメントシステム」の構築状況、及び環境保全活動への取り組み状況を確認させていただきます。

付表1「環境保全活動への取り組み状況」調査表

## 3) 事業活動における環境負荷低減への取り組み

### (1) 温室効果ガス(CO2)の削減

お取引先様の事業活動で発生するCO2の排出量を把握の上、削減目標を設定し温室効果ガス削減の取り組みをお願いします。

CO2排出量の調査、取り組み状況について必要に応じ確認させていただきます。

### (2) 環境配慮型設計・商品・サービスの提案

お取引先様で保有している環境技術、サービス、環境配慮型設計・製品などの積極的な提案をお願いします。

提案書、見積書等にて提案をお願いします。

### (3) 物流工程の温室効果ガス削減に関する提案

製品および部品の納入対応をお願いしている、お取引先様は物流で発生する温室効果ガスの管理としてCO2排出量算出の原単位となる指標(走行距離、燃料使用量、燃費)の把握をお願いします。併せて物流効率向上の提案、梱包資材の削減、環境配慮型荷姿等の提案をお願いします。

提案書、見積書等にて提案をお願いします。

#### 4) 資源循環の推進

弊社では、循環型社会の実現に向けた活動として、生産工程における廃棄ロス削減の推進やマテリアルリサイクルの推進に取り組んでおります。お取引先様も拠点における廃棄物の削減とリサイクルの推進をお願いします。

必要に応じて取り組み状況を確認させていただきます。

#### 5) 化学物質の管理と削減

化学物質に対する規制強化、管理する化学物質も増加しております。そのため、弊社は労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律や欧州ELV指令、REACH規則など、国内外における環境関連法令や国際的な標準である GADSL といった各種規制を遵守し安心、安全な製品の生産を行う為、調達する部材について環境負荷物質の削減、化学物質の管理を徹底していきます。また環境負荷物質の管理についてはサプライチェーンを通じたすべてのお取引先様の管理が必要となりますので同様な対応をお願いします。

##### (1) 化学物質管理の情報提供

お客様へ納品する製品(自動車部品)の部品、材料については IMDS にて化学物質の使用状況の報告をお願いしています。弊社から IMDS の入力依頼を受けたお取引先様におかれましては所定内の期限までにご対応をお願いします。

対応については 付表 2 化学物資調査フローを参照ください。

##### (2) 化管法、労働安全衛生法等の法令対応

取扱い方法に注意が必要な化学品を含んだ特定の原材料、副資材につきましては化管法、労働安全衛生法等の法令及び GHS に基づいて情報伝達を行う際には SDS(Safety Data Sheet=安全データシート)の提出をお願いします。

また、法改正などで記載内容に変更が必要となった場合は速やかに改訂版の提出をお願いします。

対応については 付表 3 SDS提出フローを参照ください。

## 4. 用語集

- IMDS (International Material Data System)  
国際材料データシステムで自動車を構成する部品の材料および含有物質情報を収集するためのシステム  
IMDS ホームページ <http://www.mdssystem.com/index.jsp>
- GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)  
化学品の分類および表示に関する世界調和システム
- SDS (Safety Data Sheet = 安全データシート)  
化学物質や化学物質が含まれる原材料などを安全に取扱うために必要な情報を記載したもの
- 欧州 ELV 指令  
欧州で使用済み自動車 (End of Life Vehicle) が環境に与える負荷を低減するための指令
- REACH 規則  
欧州連合 (EU) における化学品の登録・評価・認可及び制限に関する規則
- GADSL  
Global Automotive Declarable Substance List = 世界の自動車業界の申告物質リスト  
GADSL ホームページ <https://www.gadsl.org>

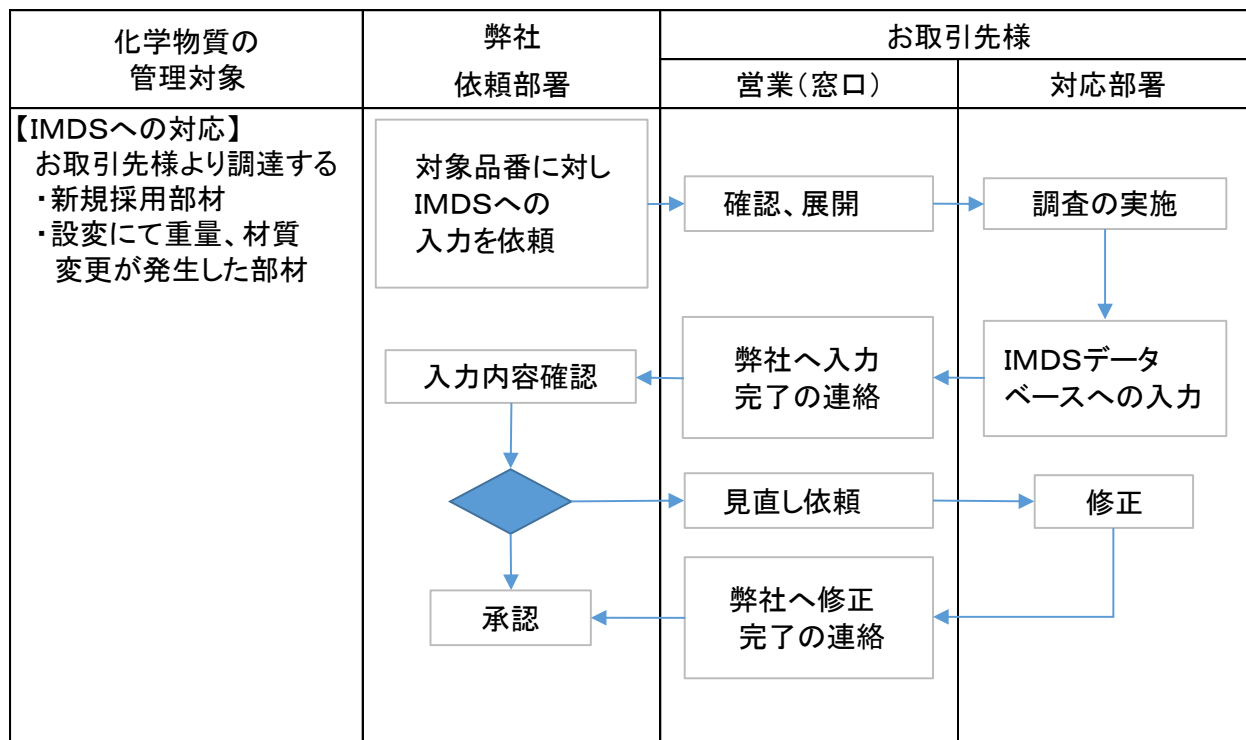




# 付表1 「環境保全活動への取り組み状況」 調査表

		年		月		日		記入	
<b>環境保全活動への取り組み状況</b>									
		コード							
		貴社名							
		ご記入者所属部署名							
		ご連絡先TEL		-		-			
質問項目		回答記入欄(該当に○を記入)							
1	ISO14001の認証を取得されておられますか？ ISO14001の認証更新日をご記入願います。 取得の予定がごありますか？ ISO14001以外で現在も有効な環境マネジメントシステムを取得している場合その規格名をご記入願います。	取得済							更新済
		取得予定							頃取得予定
		取得予定なし							備考
		その他の環境マネジメントシステムを取得済み							規格
2	貴社では、RoHS禁止物質(SOC10物質)が含有した材料、部品、副資材等を同一建屋内で使用や生産があるか、調査・確認されておられますか？(保管・使用がないなど、この設問が当てはまらない場合は、その旨を備考欄にご記入願います。検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。)	している		検討中				していない	(備考)
3	貴社ではREACH規則のSVHC対象物質が含有した材料、部品、副資材等を同一建屋内での使用や生産があるか、調査・確認されておられますか？(保管・使用がないなど、この設問が当てはまらない場合は、その旨を備考欄にご記入願います。検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。) SVHC: Substance of Very High Concern 高懸念物質	している		検討中				していない	
4	カーボンニュートラル(炭素中立)実現に向けた目標の設定や取組計画はごありますか？ <取組み例> “2019年を基準年として毎年5%の削減を計画” ※目標や計画がない又は検討中の場合は備考欄へ検討する予定時期をご記入願います。	している		検討中				していない	
以下、1で「取得済み」と回答の場合にはご記入不要です。(備考)									
5	会社の方針に環境保全に関する項目がごありますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	ある		検討中				ない	
6	環境保全活動を社内で展開されておられますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	している		検討中				していない	
7	貴社に關する環境關連の法規制にどのようなものが該当しているかを把握されておられますか？ ※確認中の場合は備考欄へ完了予定時期をご記入願います。	している		確認中				していない	
8	環境關連の法規制で規定された項目については、全て遵守されておられますか？ ※一部実施の場合は備考欄へ遵守されていない項目をご記入願います。	している		一部実施				していない	
9	環境關連の法規制が、改正された際に速やかに情報入手できるしくみがごありますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	ある		検討中				ない	
10	環境に關する緊急事態が発生した際の処置・対応ルールがごありますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	ある		検討中				ない	
11	緊急事態を発生させないような取組みを実施されておられますか？ ※一部実施の場合は備考欄へ課題についてご記入願います。	している		一部実施				していない	
12	貴社では、製品の設計段階で、環境保全を考慮した設計を実施されておられますか？(製品の設計をしていないなど、この設問が当てはまらない場合は、その旨を備考欄にご記入願います。検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。)	している		一部実施				していない	
13	貴社では、どの工程、どの設備、どの作業、業務が環境に影響を与えるかを把握されておられますか？ ※一部把握の場合は備考欄へ把握できていない内容をご記入願います。	している		一部把握				していない	
14	貴社では、廃棄物を自らの責任において適正に処理されておられますか？ ※一部実施の場合は備考欄へ未実施項目をご記入願います。	している		一部実施				していない	
15	貴社では、資源の有効活用に取り組みおられますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	している		検討中				していない	
16	貴社では、自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に配慮した取組みを行っていますか？ ※“している” “検討中”の場合は備考欄へ取組み内容をご記入願います。	している		検討中				していない	
17	貴社では、環境に關する教育を実施されておられますか？ ※検討中の場合は備考欄へ実施予定時期をご記入願います。	している		検討中				していない	

付表 2 化学物質調査フロー



付表 3 SDS提出フロー

